

ふれあい

2024

7

No.448

牛久愛和総合病院 広報誌



血管内治療科のご紹介

血管内治療科 部長 瀧澤 玲央



皆様、こんにちは。血管内治療科部長の瀧澤玲央と申します。

血管内治療科は皆様にとって聞き馴染みのない診療科だと思えます。今回は血管内治療科がどのような病気を診察するかをご説明したいと思います。

血管内治療科では心臓・脳血管以外の大血管および末梢血管を含めた全身の血管のカテーテル治療を中心に行なっております。対象となる疾患は腹部大動脈瘤のステントグラフト治療や、内臓動脈瘤のコイル塞栓術、閉塞性動脈硬化症の下肢血行再建、透析用バスキュラーアクセスに対する経皮的血管形成術、下肢静脈瘤の血管内焼灼術、CTガイド下生検など幅広い病気にか

対して様々な治療や診断のサポートを行う科となっております。

日本においては高齢化と食文化の欧米化にともなって、血管病を患う患者様が増えています。しかしながら、心臓や脳血管と違い末梢血管病に關しての認知は進んでいません。

例えば、閉塞性動脈硬化症の症状としては、「間欠性はこう」と呼ばれる症状が出現します。これは歩行しているうちに下腿に疲労に似た痛みが出現し、休憩を取ると改善するといった症状ですが、脊柱狭窄症でも同様の症状がでるため整形外科に受診されて脊柱管狭窄症の治療をされるものの症状が改善しないなどのケースがあります。高度の間欠性はこうは下肢血流の不良に伴う症状のこともあり、カテーテル治療にて改善を期待できることもありますので、お気軽に診察に来ていただければと思います。

また、2024年3月から腹部大動脈瘤のステントグラフト治療も当院で開始しております。腹部大動脈瘤は特に症状はありませんが、腹部大動脈瘤が破裂すると致死率は9割近くの恐ろしい病気になります。腹部大動脈瘤を患っている方は高齢者が多く、通常の手術が不安の方もいらっしゃるかと思います。当院ではカテーテル手術のステントグラフト手術で患者様の負担を軽減した治療が可能となりましたので、こちらもご相談いただければ幸いです。



病院外で学ぶ ～学会等への参加の意義～

歯科口腔外科 部長 河地 誉
歯科衛生士 主任 高橋満里子

情報化社会が進展し、WEB上には正確なものと正確性に欠けたものが混在しています。多くの医療情報の中から、必要なものを正確に収集するためには、科学的な視点を持ち、客観的にかつ冷静に取捨選択する力が求められます。また、それらを臨床的に実践するためには、妥協することなく継続的に打ち込み、やり遂げる力を持ち合わせなければいけません。そのため、医療者には、科学者と職人のような気質を併せ持つ必要があると考えられます。

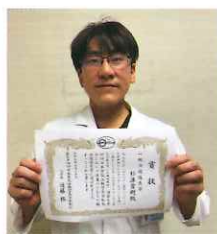
歯科口腔外科では、日常的な診療業務を行うことは大切ですが、学会等に参加し最新の情報を得て、日々の診療において実践することも重要な業務であると考えています。多くの情報を得ることで自身の業務を見直し、良い取り組みは継続して行い、改善する必要があると躊躇することなく見直す柔軟な姿勢が大切だと考えます。学会等に参加する意義や目的は様々ですが、Chat GPT AIによると①最新の研究動向を知ることができる②学際的な交流ができる③専門家からフィードバックを受けることができる④発表の技術の向上などが挙げられて

います。昨年から今年にかけて、歯科口腔外科では、河地医師が、【第68回日本口腔外科学会総会・学術大会内に開催された病院歯科シンポジウム、病院歯科口腔外科の継承、再興、発展】において登壇し、「当院歯科口腔外科の変革について」について発表しました。今井医師は、【第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会】において「嚥下内視鏡検査での喉頭蓋形態の判別の整合性と誤嚥リスクへの関連性の検討」について口演発表しました。

一般演題優秀賞を受賞しました（写真1）。【第21回日本口腔ケア学会総会・学術大会】（写真2）では、小林歯科衛生士が「呼吸器管理チーム（RST）における口腔管理の現状と課題」について示説発表しました（写真3）。高橋主任歯科衛生士が「口腔ケアの普及とその取り組み」、深谷副主任歯科衛生士が「周術期口腔機能管理の現状と今後の課題」について口演発表しました（写真4）。

各学会内では、当院の取り組みについて質疑が行われ、多くの参加者と意見交換を行いました。他施設の現状を知ること、当院にもより良いシステムを取り入れ、最高の医療を提供するために日々研鑽を積んでいきたいと思っています。

杉浦医師は、【第74回日本電気泳動学会学術大会】において「ホルマリン固定パラフィン包埋検体からヒドロキシルアミンを用いて抽出したミ



（写真1）
一般演題優秀賞を受賞した杉浦医師



（写真2）
第21回日本口腔ケア学会総会・学術大会へ参加



（写真3）
質疑を行う高橋主任歯科衛生士と小林歯科衛生士



（写真4）
口演発表を行う高橋主任歯科衛生士

看護部地域活動の話

摂食・嚥下障害看護認定看護師 橋本 由美

皆さん、こんにちは。認定看護師あゆみ会よりお知らせです。

当院看護部は、「地域住民の皆様へ健康な生活を支援し、信頼と満足の得られる誠実な看護を提供する」とことを理念としています。地域住民の皆様が身近に健康の相談をおこなえる場として、2024年6月より左記日時でエスカード牛久において看護相談を再開させていただくこととなりました。看護相談は、専門の知識を持つ当院の認定看護師・感染制御実践看護師が担当させていただきます。

食事の飲み込みづらさがある・食欲が出ない、がんの治療・検診、スキンケア・尿失禁・人工肛門のケア、脳卒中・生活習慣病のこと、認知症の人・家族の悩みごと、生活のなかでの感染症の予防等で聞きたいこと、相談したいことがあります。お持ちしております。



【時間】

2025年・1月20日、2月17日、3月17日
13時30分～15時30分

【日付】

2024年・6月17日、7月22日、
8月19日、9月30日、10月21日、
11月18日、12月16日

春秋園だより

暑さの厳しい折り、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

春秋園では涼しい風の日にはなるべく換気を兼ねて窓を開けています。また蒸し暑い日は窓を閉めてクーラーやドライを切り替えながら使用しています。ご利用者様の体調管理に十分気を付け、今月も楽しく過ごしていただければ幸いです。

二階入所では、毎日のレクリエーションの他に、毎月行事を行っています。今回は、先日行いました「母の日」をご紹介します。

普段からお食事や他のご利用者様と会話を楽しまれている食堂で、おやつ時間に母の日限定のケーキをご提供させていただきました。



ケーキのお供にお好きな飲み物の希望を聞き、コーヒーやジュース類を飲んでいただきました。「ケーキと言ったらコーヒードよね」「いや私は紅茶です」と会話をされています。

他には「甘い食べ物だから、苦い物が良い。お茶とかね」と、女性のご利用者様のお話をとまりで聞いていた男性のご利用者様は「俺は酒が飲みたかったな」と言い、目の前の女性のご利用者様がそれに対し「今日は母の日だからね」と言っているのを聞いて笑いがおき、和やかな雰囲気を感じられました。

まだご家族の皆様と自由にお会いできる環境ではございませんが、毎月の非日常的な行事も取り入れながら、ご利用者の皆様楽しく健康に過ごせるように職員一同力を合わせてまいります。

今後ともご利用者の皆様の近況をご報告させていただきます。

(入所二階職員一同)

部署紹介

画像診断センター

副科長 深津 雅史

画像診断センターでは、X線を用いて骨や肺など、身体の内臓・腹部などの血管系の診断撮影、脳・心臓・腹部などの血管系の診断及び治療を行う血管造影、脳卒中・脊髄損傷などの初期診断に欠かせないCT、強力な磁石を用いて全身の精密診断を行うMRI、予防医学を推進する健診業務など、多岐に渡る分野の業務を診療放射線技師22名、事務2名の計24名のスタッフで実施しています。

「放射線」と聞くと被曝による身体への影響を心配される方もいるかも知れませんが、通常施行されている検査では心配するほどの放射線被曝ではありません。代表的な検査での被曝線量は、胸部X線撮影0.03 mSv（ミリシーベルト）、頭部CT 2.5 mSv、胸部CT 5.0 mSv程度で、身体的影響が現れるリスクがある100 mSvよりはるかに低い線量です。放射線診療はあくまで患者様の病気の診断・治療が目的です。患者様の利益が被曝のリスクより大きいという医師の判断の上で、被曝をできる限り少なくする努力（防護の最適化）を常に行って検査を実施していますので、あまり心配されずに検査を受けて下さい。

検査の内容などについて分からないことや不安なことがございましたら、画像診断センターまでお気軽にお尋ね下さい。

DMカフェ

糖尿・代謝内科 部長

河邊 聡子

暑い夏の季節です。おいしい冷たい飲み物が欲しくなりますね。ペットボトル症候群という病気を知っていますか？ 清涼飲料水、栄養ドリンク、甘いコーヒードなどの大量摂取（2-3リットル以上/日）し続けることにより急激な高血糖をおこす病気です。カロリー0飲料でもコップ1杯あたりのスティックシュガー（5g）1本、通常のジュースやスポーツドリンクはコップ1杯あたりス

リンクはコップ1杯あたりスティックシュガー3-4本入っています。野菜ジュースも1パック（200ml）あたりスティックシュガー3-6本入っています。高血糖になると異常に喉が渇き、多尿になります。さらにジュースを飲むと高血糖が悪化し、最悪の場合、死亡します。子供や若者、誰にでもおこる病気です。砂糖の摂取は1日25g以下、スティックシュガー5本以下と推奨されています。ジュースを飲んだら、次は、お茶か水を選びましょう。お酒は水に

入職者



6/1付入職 研修医 内田 晃

6月1日付

■春秋園

■訪問看護

看護師 萩原 知子
病棟勤務で培った経験を活かし、利用者様とその家族に寄り添った看護を提供できるよう精進致します。

6月16日付

■栄養科

栄養士 勝又 若菜
笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、食を通して患者様をサポートできるように日々精進いたします。

事務

菊池 友紀

少しでも早く業務に慣れ、皆様のお役にたてるよう努力していきたいと思っています。

■経理課

事務

郷 圭太

一日でも早く業務に慣れるように、真心を込めて誠実に取り組みたいです。

ショップ&カフェ(売店)

レストラン事業部 課長

池田 恵美

売店より取扱い商品のご案内です。

種類豊富な出来立て手作りパンや本格イタリアンコーヒーなど人気のカフェコーナーや生活必需品、介護用品や食料品まで数多くの商品をご用意しております。

編集だより

梅雨に映える紫陽花ですが、花言葉はなんと「移り気」「辛抱強さ」「浮気」「無常」だそうです。ちょっと意外でした。

日常にありふれたことでも調べてみると、新しい発見が多いことに気づかされます。(T・S)

また、4月より当店おすすめの『焼きたてホットドック』

の販売を開始いたしました。キャベツをたっぷりと挟んだ生地にオリジナルソースと生ソーセージやハンバーグをのせて二度焼きしますので、お時間は少々かかりますが出来立てをご提供いたします。ぜひ、オリジナリティ溢れるホットドックをご賞味ください。

お客様にご満足いただけるお店作りに努めさせていただきます。スタッフ一同、心よりご来店をお待ちしております。

店内の場合



ハンバーグエッグセット
・オニオンリング
・アイスティー 780円
(税込み)

TAKE OUTの場合



病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間



牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
読影センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

